

# 「オスモブルーム™」、革新的な天然香料抽出技術を発表 ～ロレアル グリーンサイエンスが拓く、香りの未来～

日本ロレアル株式会社

世界をリードするビューティーテックカンパニー、ロレアルグループの日本における研究開発部門であるロレアル リサーチ & イノベーション ジャパン（所長：アミット・ジャヤズワル）は、本日、グローバルコミットメント「ロレアル・フォー・ザ・フューチャー」のグリーンサイエンスに基づく、画期的な香料抽出技術「オスモブルーム™」に関するニュースレターを配信しました。

オスモブルーム™は、コスモ・インターナショナル・フレグランスとの独占的パートナーシップにより、彼らが開発した独自の「エアキャプチャー技術」を採用しています。この技術は、新鮮な花や果実など天然素材が自然に放つ香りの揮発性分子を、空気の流れて優しく包み込み、そのまま抽出することでエッセンスを得ることができます。加熱や冷却、水の使用を必要としないため、環境負荷を最小限に抑えた、持続可能な技術です。

従来の抽出方法では、花の本来の香りに変化が生じてしまうこともありましたが、オスモブルーム™は、摘みたての花の香りをそのまま瓶に閉じ込めたような、ピュアで自然な香りを再現することを可能にします。さらに、これまで抽出が不可能だった繊細な香りの花や果実にも適用できるため、調香師に新たなインスピレーションを与え、香りの世界に無限の可能性をもたらします。現在、チュベローズに加え、10種類以上の天然香料の研究が進められており、これらの希少なエッセンスは、ロレアルのフレグランスだけが独占的に使用できる特別な素材となります。

ロレアルは、オスモブルーム™を通じて、消費者の皆様へこれまでにない、真に自然で感動的な香りの体験を提供し、美の未来を創造してまいります。

ロレアルグループについて

ロレアルは115年にわたり美容・化粧品業界のリーダーとして、世界の消費者の美への希求とニーズに応えることに専念してきました。当社のパーパス「世界をつき動かす美の創造」は、社会に対しても、環境に対しても、サステナブル、インクルーシブ、倫理的かつ寛大な形で美を通じて貢献していくという私たちの美への姿勢を包括的に表現するものです。37の国際ブランドを初めとする多様で幅広いブランドポートフォリオと、持続的発展と環境を守るための取り組みである「ロレアル・フォー・ザ・フューチャー」プログラムを通じ、美の無限の多様性を賛美し、世界のすべての人々に最高水準の品質、有効性、安全性、誠実さ、責任をお届けします。当社は、9万人を超える従業員を擁し、地理的にもバランスの取れた拠点展開と、すべての流通網（eコマース、マスマーケット、百貨店、薬局、美容室、ブランドおよびトラベルリテール）における販路を有しています。2024年のグループ売上高は434億8千万ユーロにのぼります。世界13カ国に21の研究開発と研究開発拠点を置き、4,000人以上のサイエンティストと8,000人を超えるデジタル人材を擁するロレアルは、美の未来を創造し、ビューティーテクノロジーを推進してゆくことを重要視しています。詳細については、<https://www.loreal.com/en/mediaroom> をご参照ください。

## ロレアル リサーチ&イノベーション ジャパンについて

日本における研究開発は1983年にスタートし、現在、日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンター（所在地：川崎市、所長：アミット・ジャヤズワル）として、戦略的なイノベーション拠点としての役割を担っています。数ある外資系化粧品企業においても、もっとも歴史ある研究開発部門であり、いち早く日本の文化、歴史、社会を深く理解し、200名以上の研究員が、ラグジュアリーブランドをはじめ、グループの各ブランドおよび様々なカテゴリーの製品開発を行っています。代表的なブランドはランコム、シュウウエムラ、キールズ、イヴ・サンローラン、ケラスターゼ、ロレアル プロフェッショナル、メイベリン ニューヨーク、TAKAMIなど。

<https://www.loreal.com/ja-jp/japan/articles/science-and-technology/beauty-research-and-innovation>